

☎ 問 総務課総合政策係
5212111 (内線231)



第2貸工場完成イメージ図

今年1月6日に、金山町と株大商金山牧場が締結した立地協定に基づき、金山町第2貸工場の建設工事の起工式が6月11日(土)に行われ、工事が始まりました。
工事期間中は、工事現場と国道13号や国道344号を工事車両等が入り出すなど、ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

第2貸工場の建設工事が始まりました

平成28年12月オープン(予定)
株大商金山牧場の加工品製造・販売施設

- ◎工事場所 金山町大字金山字上野
(最上広域消防署金山支署の向かい側)
- ◎概要(構造、規模等)
構造 木造、平屋建
面積 床面積 約219㎡(約66坪)
建築面積 約257㎡(約78坪)
敷地面積 約1,093㎡(約331坪)
- ◎工事期間 平成28年6月9日～平成28年11月30日
- ◎施工業者 星川建設株式会社
- ◎設計・監理 阿部建築研究室



起工式にて鋤入れを行う鈴木町長(左)と株大商金山牧場小野木専務(右)

「米の娘ぶた」 × 「金山産野菜」 = かねやま餃子

この貸工場は、(株)大商金山牧場に貸付け(使用許可)し、加工食品の製造・販売施設として利用される予定です。現在、(株)大商金山牧場では、この加工施設の看板商品とするべく「かねやま餃子」の開発を進めています。



「かねやま餃子」とは、今までありそうでなかった、金山産の食材がふんだんに使用されている餃子です。下野明地区の養豚場で育ったブランド豚「米の娘ぶた」をはじめ、金山産のニラなど、地場産品がたっぷり入っています。

「米の娘ぶたは平成25年に開催された、銘柄ポーク高感度コンテストグランドチャンピオン大会において、最高賞となるグランドチャンピオンに輝きました。また、金山町につきましては、ニラの生産が盛んで高品質なニラとして市場での評価が高いと評判です。それらを混ぜ合わせて金山らしい商品を開発できないかと考え、思いついたのが餃子だったのです。シンプルな発想ですが、餃子は老若男女に愛される国民食ですから間違いはないはずです。」と開発担当者の(株)大商金山牧場伊藤さんは開発に至る経緯を話してくれました。そんなおいしい食材を使ってさらにおいしい餃子を開発するために、伊藤さんは先進地である静岡県浜松市で修行し、餃子作りの基礎から学んだそうです。現在も県内の中華料理の先生に弟子入りし、よりおいしい餃子作りに励んでいるとのこと。

今後は、青空市をはじめとした町内外のイベントで試食会を開催する予定です。多くの町民の皆さんからのご意見をいただきながら、今年12月のオープンに向け「かねやま餃子」の商品化を目指します。

「かねやま餃子」が多くの人に愛される新たな町の特産品となることを期待します。

